

「学校は地域の中のコミュニティ」

～金沢小学校コミュニティースクール運営協議会の紹介～

1 初めに

地域との連携を大切にといわれていますが、金沢地区においては、連携というよりもっと結びつきが深く、いわゆる、学校も地域の中のコミュニティの一つだと感じています。地域の会や行事、敬老会、消防や少年野球等、校長は学校の代表として参加するのはもちろん、職員も役員として参加する場合があります。

ですから、コミュニティースクール運営協議会が発足したときも、長年受け継がれてきた、学校が地域とともに歩んできた伝統を組織化したものであり、活動自体はすでにずっと行われていたものなのです。

2 コミュニティースクールのメンバー

C Sの会長は前金沢地区コミュニティ運営委員長で、メンバーは、地域にある主なコミュニティ（財産区、民生委員、運営協議会長、金沢体協、スケートクラブコーチ等）の代表から構成されています。代表からメンバーに繋がり、いっしょになって学校行事や学習活動を行っています。

3 主な活動紹介

茅野市型C S「地域とともにある学校」「地域をつくる学校」を目指して活動しています。

(1) コミュニティースクール運営委員会

- ・年、5回開催しています。

(2) コミュニティースクール役員会（正副会長、校長、教頭 計5名）

- ・本年度からC S運営委員会開催前に活動の見直しや今後の方針、C Sの持ち方などを3役で協議する場として役員会を新設しました。年5回程、運営委員会の前に設定しています。

(3) 具体的な活動本年度の活動

<学校行事>



「きのこ狩り遠足」↑

財産区の方の案内できのこを採りに山に入ります。

「金鷄グリーンデー」（写真2枚）→

元々は木の伐採作業でしたが、コロナ禍でここ2年はほだぎを切ったりキノコの菌打ち作業をしたりしています。（写真下は従来の伐採作業）



<校庭リンクによるスケート学習、スケート記録会>



「リンクづくり・夜のリンク整備」↑

リンク整備は金沢体協中心に、P T Aも協力して行っています。

2週間、毎日校庭リンクでスケート学習を行いました。ここ3年、コロナや悪天候で中止になっていますが、スケート学習のまとめは記録会です。前日は徹夜での作業でリンク整備をします。

「校内スケート記録会」→



「校庭リンクでのスケート学習」↑



<授業支援>



「家庭科」、「生活科」、「総合」、「図工」などの授業支援を行っています。

＜教育活動＞



「読み聞かせ」 ↑



「スケートクラブの指導」 ↑

＜家庭教育支援部会＞



← 「親子繭玉づくり」

本年度はコロナ禍で中止になってしまい、写真は一昨年のもですが、1年生親子で繭玉づくりを企画しました。



＜その他＞

「職員研修」→

地域巡りをし、地域のことを知る研修の講師

4 反省と今後の課題

今後もCSは学校と一緒に運営していくこと確認し、学校評価、学校の様子などしっかり伝え、茅野市型CS「地域とともにある学校」「地域をつくる学校」を目指して活動していきます。

- (1) 最終的にはコミュニティースクールが地域の方主導で活動できることを目指しています。
- (2) 金沢地区には高齢者が多く、その方達に学校に関わっていただくことは地域の活性化にも繋がると考えます。そのため、地域に広く金沢小の活動を知っていただき、学校は敷居が高いという意識を取り除き、小さなことからでよいので、学校を見守っていただくためにCSはつなぎ役となるようにし、金沢地区運営協議会において発信しました。有線放送を使って、下校の見守りもお願いしています。
- (3) 家庭教育部会、広報活動を充実させ、CSの取り組みを地域に発信したいと考えています。
- (4) 資料室を整備し、地域の方やお年寄りの方によってもらえる資料館としたいと企画中です。
- (5) 授業支援をたくさんお願いしCSの方に、声をかけていただいて一人、二人と支援の方が増えていくことを願っています。